

プレスリリース

本プレスリリースは、米国時間 2010 年 2 月 22 日発表の抄訳です。

2010 年 3 月 15 日
アドビ システムズ株式会社

オムニチュア、ユーザー向けのコミュニティサイト Idea Exchange を開設

**ユーザーのアイデアや意見を 24 時間 365 日受け付け、
投票結果に基づき対応の優先順位を決定、
対応状況を公開することで、透明性と顧客とのコラボレーションを強化**

カリフォルニア州サンノゼ発(2010年2月22日)Adobe Systems Incorporated(Nasdaq:ADBE)(本社:米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ システムズ社)の1ビジネスユニットであるオムニチュアは、Idea Exchange を開設し、自社製品の機能に関するアイデアや意見をユーザーから収集するほか、これらの意見に対するフィードバックと最新の対応状況を公開していくことを発表しました。

Dominion Enterprises 社の Web アナリストであるケビン ロジャース (Kevin Rogers) 氏は、「Idea Exchange は、顧客から直接受け取ったフィードバックに基づいて製品を改善するというオムニチュアのこれまでの取り組みを継承するものです。ユーザーが参加するコミュニティの活用は、オムニチュアの製品スイートを改善し、顧客のニーズや期待に応えるための最適な方法です。Idea Exchange により、製品強化と機能に関するアイデアや意見を、オムニチュアのエンジニアに直接、迅速に伝えることができます」と述べています。

Red Hat 社のマーケティングアナリストであるニック ディッチェ (Nick Dietsch) 氏は、「オムニチュアは、ユーザーカンファレンス Omniture Summit においてユーザーを対象に最も関心を持った機能や機能強化に関する調査を実施しており、その取り組みを評価しています。オムニチュアの Idea Exchange は、この取り組みを土台としたもので、オンラインコミュニティ上でユーザーのアイデアに関するフィードバックを共有し、話し合い、受け取ることができます。ユーザーの一人として Idea Exchange を通じ、オムニチュアの今後の製品価値に影響を及ぼす機会が得られることを、非常に嬉しく思います」と述べています。

オムニチュアの Idea Exchange は、製品やサービスの機能強化に関する顧客の意見を効率的に収集、追跡するための情報データベースとして中心的な役割を担います。Idea Exchange のユーザーの協力のもと、オムニチュアのエンジニアは、コミュニティの評価、コメント、提案に応じて対応の優先順位を決定します。また、オムニチュアは、コミュニティのメンバーに、機能要求に関する最新の対応情報を提供します。

アドビ システムズ社 オムニチュアビジネスユニットの製品 & テクノロジー担当バイスプレジデント兼ゼネラルマネージャのプレット エラー (Brett Error) は、「オムニチュアは常に、お客様の声に耳を傾けるとともに、最高の製品とサービスを開発することで、お客様が日々直面する問題を解決することに注力しています。今回の Idea Exchange の開設により、これまで以上に透明性が高く、説明責任を伴い、またお客様と協調できる仕組みを実現しました。今後我々は Idea Exchange などを活用し、年間を通じてお客様とのコラボレーションを推進します」と述べています。

Idea Exchange は ideas.omniture.com から直接アクセスできるほか、オムニチュアのウェブサイトのトップページにある「COMMUNITY」のド롭ダウンメニューや、SiteCatalyst のヘルプメニューからもアクセス可能です。Omniture Idea Exchange にアクセスするには、SiteCatalyst のユーザーアカウントが必要です。Idea Exchange は現在英語版でのご提供となっています。

オムニチュアについて

米国 Adobe Systems Incorporated のビジネスユニットであるオムニチュアは、オンラインビジネスを最適化するためのソフトウェアをオンデマンドの SaaS モデルで提供しています。オムニチュアのソフトウェアは、お客様のウェブサイトやその他のシステムで生成される情報の収集と蓄積を行い、その情報を解析することでオンライン、オフライン、及びマルチチャネルのマーケティング活動や販売活動などにおける投資対効果の向上や収益向上などビジネス課題の解決を支援します。またソフトウェアに加えて、より高い導入効果を実現するための導入支援サービス、コンサルティングサービス、カスタマーサポート、及びユーザー教育を提供しています。日本においては花王株式会社、株式会社千趣会、日本放送協会、楽天株式会社、株式会社リクルート（五十音順）など 300 社以上の導入実績があります。 www.omniture.com/jp

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザーの、アイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイトに掲載されています。